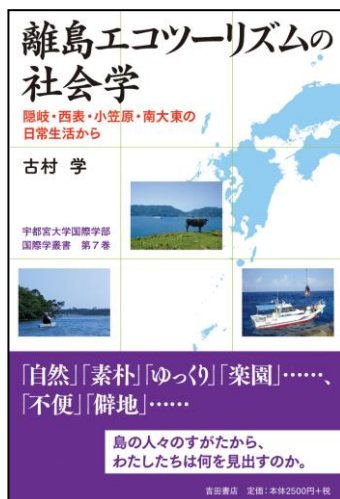


吉田書店 4月上旬刊行！

『離島エコツーリズムの社会学』 —隠岐・西表・小笠原・南大東の日常生活から—

古村学著

(ISBN:978-4-905497-31-8 C1036 四六判並製 296頁 本体価格:2500円)



「自然」「素朴」「ゆっくり」「楽園」……、「不便」「僻地」……
島の人々のすがたから、わたしたちは何を見出すのか。

「エコツーリズムを支えるグローバルな自然観は、「自然環境主義」に基づく自然保護と同じ価値観である。それとは異なる離島ごとのローカルな自然観、この二つの関係性に注目していく。そのうえで、それぞれの離島ごとに、そこで生活する人々にとってのエコツーリズムの意味を考えたい……」（「序章」より）

【目次】

- 第1章 現代社会と観光
- 第2章 離島社会と観光
- 第3章 離島観光の系譜——隠岐諸島西ノ島を事例として——
- 第4章 エコツーリズムと自然保護——八重山諸島西表島を事例として——
- 第5章 エコツーリズムと「都会意識」——小笠原諸島父島を事例として——
- 第6章 エコツーリズムと「生活」——大東諸島南大東島を事例として——

【著者】古村 学（こむら・まなぶ）

宇都宮大学国際学部講師。大阪大学大学院人間科学研究科修了、博士（人間科学）。主な研究領域は、村落社会学、知識社会学、社会人間学。主要著作等に、「日本の離島における観光——自然観光からエコツーリズムへ」（藤巻正己・江口信清編『グローバル化とアジアの観光——他者理解の旅へ』ナカニシヤ出版、2009年）、宇都宮大学国際学部古村研究室編『地域社会論Ⅰ 実習調査報告書 地域から未来を見つめる』（宇都宮大学国際学部古村研究室、2011~2014年）。

ご注文は(株)JRCへ TEL03-5283-2230

FAX:03-3294-2177

書店印	ご注文	吉田書店発行	古村学著 定価 2500円+税
	冊	『離島エコツーリズムの社会学』 —隠岐・西表・小笠原・南大東の日常生活から— ISBN 978-4-905497-31-8 C1036	

吉田書店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-9-6 東西館ビル本館 32 TEL03-6272-9172